

あしよろちょう りくべつちょうりくべつ
北海道横断自動車道(足寄町～陸別町陸別)の
事業再開について

～高規格道路のミッシングリンク解消に向けて事業を推進～

今年7月2日に開催した北海道開発局事業審議委員会において、北海道横断自動車道の当面着工しない区間（足寄町～陸別町陸別）に関する審議を行い、その後、高速自動車国道法に基づく整備計画の変更手続きが完了し、この度、足寄町～陸別町陸別間の事業を再開することとなりましたので、お知らせいたします。

今後は、現地にて測量や調査を行うための準備を進めてまいります。

■ 事業再開区間（別紙1参照）

北海道横断自動車道網走線 足寄町～陸別町陸別 延長31km

■ 事業による主な整備効果（別紙2参照）

- ・災害時のリダンダンシーの確保
- ・物流の輸送効率化

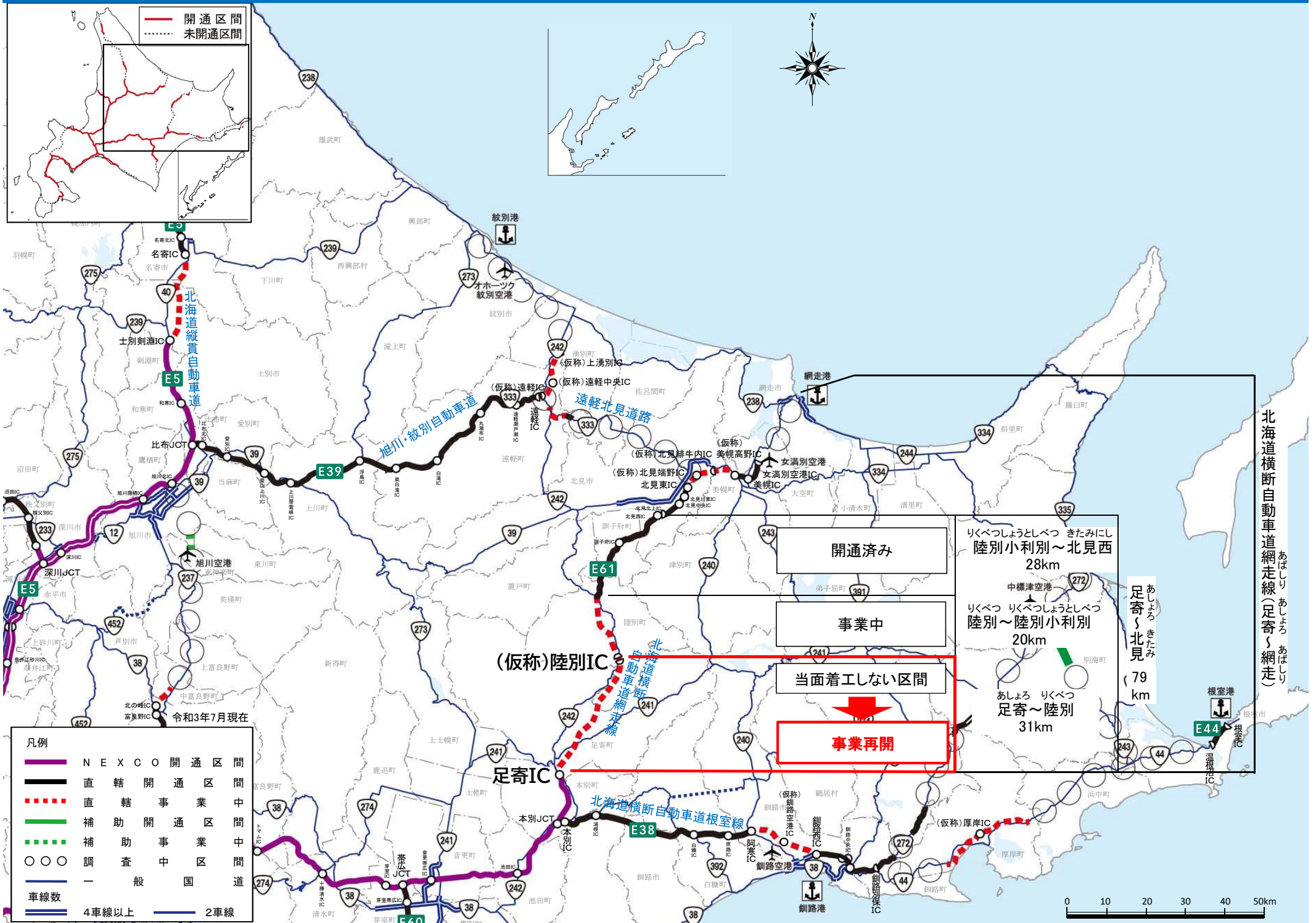
【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

建設部 道路計画課 課長補佐 阿部 正隆（内線5355）

建設部 道路計画課 課長補佐 佐藤 茂一（内線5356）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>





■災害時のリダンダンシーの確保

- ・平成28年8月豪雨災害により、道央圏と道東圏を結ぶ主要道路網が寸断。国内生産量の約2割を占める十勝産の生乳は旭川・紋別自動車道等を迂回して苫小牧港へ輸送。
- ・災害リスクが高まる中、北海道横断自動車道の整備により災害に強い道路ネットワークの構築に寄与。

■H28年8月の豪雨災害発生時の広域迂回状況

【H28.8.31の迂回交通の状況】



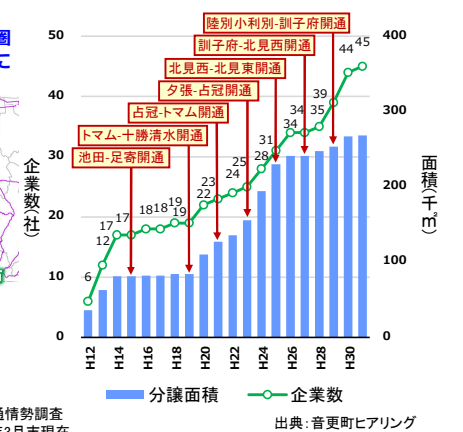
■物流の輸送効率化

- ・道央圏と十勝圏が平成23年10月に高速道路で繋がり、帯広都市圏は、苫小牧港を起点とした輸送4時間圏に含まれる等、オホーツク圏や釧根圏との中継拠点として物流関連企業の立地が増加。
- ・国内生産量の約2割を占める北見産たまねぎを輸送する臨時貨物列車は収穫期に運行されているが、減便や運休等で輸送の安定性が課題。
- ・北海道横断自動車道の整備により安定性、速達性、安全性が向上し、輸送効率化に寄与。

■道東自動車道開通前後の苫小牧港からの4時間運行圏



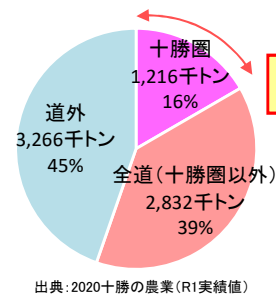
【帯広都市圏産業集積拠点の企業立地状況】



■北見産たまねぎの安定供給



【生乳生産量のシェア】



【H28.8.31に迂回した大型車の交通状況】

